

会派代表質問

持続的な発展と魅力ある都市づくりの実現に向けて！

自 民

小金井 勉 議員



問 自主財源の確保について質問いたします。過去3年間のふるさと納税額についてお伺いします。

答 平成29年度が642件で3748万6000円、平成30年度が533件で1863万4000円、令和元年度は928件で2413万8000円の状況となっております。

問 今年度1月末までの納税額についてお伺いします。

答 昨年4月からの累計で、5947件、前年同期と比較して6.8倍となっております。金額では1億519万円で4.6倍と大幅に伸びている状況でございます。

問 納税額が増えた要因についてお伺いいたします。

答 1点目として、ふるさと納税を申込み際に利用されるポータルサイトを増やしたことによるものと考えております。従来はふるさとチョイスのみで行っていましたが、今年度から新たにさとふる、楽天、三越伊勢丹の3つのサイトを導入したことで、本市の記事がより多くの方々の目に触れる機会が増えたことにより、本市のふるさと納税のPR強化が図られ、新規の寄附者を呼込むことに成功したものと考えております。

2点目は、返礼品の掘起しでございます。他の自治体などで人気の高い返礼品目について比較分析を行った結果、日本人の日常生活に欠かせない米に着目し、その品目を拡充したことであると考えております。さらに、本市のふるさと納税サイトを

知っていたため、名刺サイズのPRカードを作成し、全職員に配布した上で、市外の出張訪問先や知り合いに周知してもらうなど、職員一人丸となってPR活動も行ってきたく

ところで、これらの取組みにより、寄附額の大幅な増につながったものと考えています。

問 返礼品のトップ3はどのようなものなのか。また、今後の納税額アップに向けた施策等についてお伺いいたします。

答 今年度最も取扱が多い品目は米でございます。受入額は約5000万円、全体の約50%を占めております。次いで、ガラス工芸品で約1900万円、全体の約20%、3番目がイチゴで約400万円、全体の約4%という状況でございます。今後の増加策につきましては、現在提携している4つのポータルサイトから再び本市に寄附していただくために利用者のニーズや人気の高い返礼品の動向等について、継続して研究分析を行い、新たな返礼品の展開や返礼品協力事業者と連携を深めながら、魅力ある返礼品の拡充に努めてまいりたいと考えております。

全国1位の泉佐野市は184億、2位の都城市が100億円、こういう自治体では、様々なプロモーションを行っているかと思われます。ちなみに千葉県では、館山市が29位に入って24億。これもすばらしい金額だと思えます。コロナ禍にあつて、こうして大幅にアップしたということは、大変喜ばしいことです。担当課の皆様には敬意を表する次第です。今年度だけで終わらぬよう今後も商工会などと連携しながら、よりよい商品の発掘をしていただければと思います。来年度は2億円を目指しましょう。

※その他、市有地売却について、企業誘致の促進について質問し、有害鳥獣対策について要望致しました。

関連質問

中野 修 議員



波乗り道路 陸間の運用について

問 扉の閉鎖基準や閉鎖されるまでの時間、閉鎖の際の周知方法、津波以外での扉の閉鎖が行われるかについて、千葉県と協議していることをごさいます。工事につきましては、扉、監視制御設備として、扉の閉鎖が確実に行われていることを確認するためのカメラ、非常用発電設備の設置が予定されていることをごさいます。そこで伺います。工事の進捗状況と千葉県と継続して行われている運用についての協議の進捗状況、砂の堆積が予想されます陸間及び囲み堤防付近の砂の撤去についても伺います。

答 陸間工事につきましては、陸間の扉監視制御設備など、今年度内の完了を目指して工事を実施しているところでございます。陸間の運用方法についての千葉県との協議の進捗状況でございますが、陸間の扉は、津波に対してはアラートにより自動閉鎖するシステムでございます。扉の閉鎖基準、閉鎖されるまでの時間、閉鎖の際の周知方法の他、高潮等による津波以外での閉鎖などについて、現在、千葉県において、本市を含め、関係市町と継続して協議を進めているところでございます。

また、砂につきましても、陸間扉の閉鎖に際して影響のないよう、維持管理について、千葉県と協議を進めているところでございます。いずれにいたしましても、完成後の速やかな運用に向け、今後も遺漏のないよう、調整を図ってまいります。

本年度内の完成と4月からの運用開始と伺っております。安全な運用ができますように、県と緊密な協議をお願いしたいと思います。

関連質問

土屋 忠和 議員



問 ロケーション誘致について

我が市では、広大な白里海岸や自然に囲まれた小中池公園、神社、仏閣等、映画やドラマ、テレビコマーシャルの撮影に運用できるロケーション地が、多々あります。県ではフィルムコミッションという窓口を設けており、放送企業、各放送団体から、撮影地の相談、依頼を受けて、各地の観光、産業、文化の育成、地域の振興を目的に事業を遂行されております。その県からの紹介を含めて、過去3年間の市内でのロケーション撮影の数をお答えください。

答 本市の撮影状況は、昨年度から過去3年間で映画3本、ドラマ5本、コマーシャル2本、ミュージックビデオ8本、旅番組等のバラエティ番組14本が撮影されております。

問 県のフィルムコミッション事業を利便化し、市内の観光資源である白里海岸や小中池公園等にロケ撮影を誘致し、知名度の向上と魅力発信を進むべきと考えております。次の展開として、市内のロケ撮影の情報と実施された場所を地図化して「ロケマップ」の制作により、関東圏からのロケ地を巡る人々の訪れや交流を思案してはいかがでしょうか。

答 本市はロケ地としてのニーズもありません。ロケ地となった場所を紹介することにより、市の魅力アップを図り観光客誘致に繋げる為の「ロケマップ」の作成を検討して参ります。

個人質問

東金市外三市町清掃組合新施設の建設について

岡田 憲二 議員



問 大網白里市の建設に係る負担額は幾ら想定しているのか。

答 46億9千万円、現有施設の解体の見込みは4億5千万円。両方で約51億4千万円となる見込み。

問 令和2年第1回定例会における同僚議員の答弁で、清掃組合に確認したところ12月組合議会では施設の設計建設費で154億4千万円、本年度策定中である施設整備計画等の各種計画、来年度から実施する環境アセスメント等の調査費用等を含めて総事業費は約166億円を見込んでいたことであった。その後清掃組合より新施設予定地搬入路入口の地権者が同意しないので搬入路入口をほかに変更する。このための事業費は181億となるとの説明があったが事業費がなぜこのようになるのかお伺いしたい。

答 施設本体の建設費は概算事業費として約154億4千万円。これは施設本体の建設費であり他にアクセス道路、測量、用地費、各種調査費等及び地元対策費を加え見直した処理施設事業費は約167億5400万円である。又、現有施設を解体した場合の費用は約14億と見込まれることから概算事業費は181億5400万円となる。

問 計画していた進入路の入口が地権者の同意が得られなかったため他に進入路を造るとのこと、そのためにかかる費用はいくらとなるのか。

答 総事業費として1億3200万円の増額となる。

問 この新施設建設予定地として東金市武射田地区が選定された最大の要因はというと、この武射田地区、区ぐるみ、区全体から「どうぞ来て下さい」との要請があったと。こう

いう迷惑施設は必ず反対運動や面倒くさいことが起きるけれどもこの武射田地区は区ぐるみの要望だから反対運動も起こらない、一番進めやすいということだから一番良い予定地だとして選定した。当時私達はどのように聞いていた。しかし進入路の地権者の同意が得られなかったということになると最初我々に説明してきた話とは違うことになる。ましてそのために新搬入路に変更する費用が1億3200万増額するという話があるところ変わる。変わって来るとに金額もころころ変わる。変わってゆくと。現在で試算すると大網白里市の負担額は51億4千万円。大網白里市の財政が最も厳しいこの折に今定例会冒頭に金坂市長がいみじくも語っておりましたように、本市の財政調整基金は現在4億しかないとのこと。5万人の市の財政調整基金が4億円しかないということは無いに等しい、そういう財政状況である。又、本市の経常収支比率においては99.7パーセントと千葉県下でも最低の水準を、去年と連続して維持している状況の中で新施設建設負担金が51億4千万円であると示されているが果たして本市が耐えられるのかという疑問が私にはあるので答弁して下さい。

市長 厳しい財政状況の中ではあるが必要な施設であるから財源を確保しながら対応してまいりたい。

問 新施設が完成すれば山武市が離脱することが決定しているがなぜ山武市が離脱するのかその理由を。

答 山武市松尾町にある山武郡市環境衛生組合に一本化する意向があり新施設の構成市町に加わらないことである。